



このところ、ようやく秋らしい気候になってまいりました。2学期もあっという間に半分が過ぎようとしています。9月は残暑が厳しかったですが、5年生の稲刈りや、夢協の皆さんに参加していただいた地域を教材とした授業づくりについての研修会、地震や火災に備えた避難訓練を行いました。また、授業参観、PTA 奉仕作業もしていただきました。



9月2日 始業式での話より

1学期の終業式と同様に、オンラインで始業式を行いましたが、校長室まで子どもたちの元気な校歌や挨拶の声が直に聞こえてきて、うれしく思いました。子どもたちに話した内容を紹介させていただきます。



長かった夏休みが終わり、今日から二学期が始まります。みなさん、楽しい夏休みは過ごせましたか。自由研究で、生き物の観察を通して生命の不思議さを感じた人もいれば、家族で過ごす中で、おうちの人について新しい発見をした人もいるでしょう。どれも素敵な経験です。ああすればよかったなどちょっぴり後悔している人もいるでしょう。実は先生もその一人です。

お盆休みに、山に登りに行ったのですが、途中で体力が足りないことを感じて、引き返して麓でテントを張って野営し、次の日に帰ってきました。日頃からの運動不足が原因です。これからは、ジョギングなどの運動をしっかりと反省しました。

人間というものは何事も思い通りにはいかないものです。でも、失敗したこと・後悔したことは、これからの生活に活かせばいいのです。次に頑張ろうとエネルギーにできれば、後悔や失敗も自分の成長につながります。

さて、2学期は、1学期に培った学ぶ力とクラスの仲間との団結力で、より深い学び方ができる期間です。みんなが、自分たちの生活や地域のモノや出来事から楽しく学べるように、先生方は夏休みの間も一生けん命準備をすすめてくれていました。さあ、クラスの仲間と、どんなことを学び、どんなことができるようになるか、一緒に楽しんでいきましょう。

そのためにも、学校をみんなで安心して過ごせる場所にしていかないといけません。クラスの仲間はもちろん、学年や通学班の友だちも大切に、みんなで助け合い、楽しい稲生小学校を作っていってほしいと思います。自分と違う意見の人がいても、穏やかに話を聞いてあげてください。失敗して謝る人がいたら、温かく許してあげてください。人は誰でも、間違いはあるものです。もし、何か困ったことがあったら、先生や友だちにも相談してくださいね。

5、6年生の皆さんには、運動会や児童会、委員会の活動、毎朝の通学団を通して、優しくて自律したリーダーとしての活躍を期待しています。特に、6年生の皆さんは、楽しい修学旅行もありますが、3学期が卒業の準備で忙しくなることを考えると、この2学期がリーダーとして一番の力の見せ所です。志を高くもって、下級生が大人になっても覚えているような情熱のある仕事を残し、稲生小の新たな伝統を作ってくれたら嬉しいです。5年生の皆さんは、来年度に備え、6年生の活動からしっかりと学んでほしいと思います。

2学期も、地域の方、おうちの人、先生方、周りの仲間への感謝の気持ちを忘れず、みんなで楽しく頑張っていきましょう。



9月4日 地域の皆さんと合同研修会

本年度、稲生小学校では「自ら問いをもち、学び続ける子どもをめざして」という研究主題を設定し、地域に学ぶ生活科・総合的な学習の時間を通して、子どもたちが主体的・対話的に学ぶ力を身に付けられるよう職員研修を進めています。



9月4日の研修会には、夢協の皆さんをお招きして、各学年の今後の学習計画を説明し、意見を求めました。楽しい雰囲気の中で活発な意見交換ができ、郷土稲生の魅力や地域の皆さんの思いについて、新たな発見をたくさん得ることができました。本当にありがとうございました。

いただいた意見・感想を紹介させていただきます。

- ◎ 学校の先生たちと、授業の計画や子どもたちの様子について意見を交わせる機会となり、大変有意義であった。今後も、こういった機会を続けていきたい。
- ◎ 地域振興計画にも「地域の人々に、もっと稲生のことを知ってほしい」という目標を設定しており、学校で地域教材を学習に取り入れてもらえることは有難い。
- ◎ これまでゲストティーチャーとして学校に招かれて話をする際、子どもたちが受け身になっているのが気になっていた。これからは、子どもたちの主体性を引き出せるよう、先生たちからも「こんなことをやりたい。」「こんな協力をしてほしい。」とどんどん要望を聞かせてほしい。
- ◎ デジタル機器の活用も大切であるが、地域での体験活動も大切にしてほしい。
- ◎ 6年生の学習単元構想図は、ただ稲生を学ぶだけでなく、「自分たちにできること」を考え合う内容になっており、地域の物、事象、将来を自分ごととして考えるのはとても大切だと思った。

これからの家庭学習について

保護者の皆様、いつもお子様の宿題をご支援くださり、ありがとうございます。

PTA 家庭教育学級員さんには、家庭学習について1学期に熱心な意見交換をしていただきましたこと、改めてお礼申し上げます。

「家庭学習の時間は、家庭教育の大切な場であること」、「大人から課題を押し付けられるのではなく、子どもたちが自主的・主体的に取り組む家庭学習に変換していく必要があること」を踏まえ、夏休みの期間に、稲生小学校の教員でも協議をいたしました。それに基づき、これからの宿題・家庭学習の在り方について、以下の提案・お願いをさせていただきます。保護者の皆様のお考えをお聞かせいただければ幸いです。

【家庭学習の時間について】

決まった時刻に集中して取り組めるよう、学習環境の整備と励ましをお願いいたします。

お子様に過度の負担がかからず、家族団らんの時間確保の妨げとならないよう、以下のとおり時間のめやすを設定しました。(参考にさせていただき、お子様やご家庭の状況に応じた家庭学習の時間を、お子様と相談して設定されることをお勧めします。)

低学年	中学年	高学年
30～45分程度	40～60分程度	60～90分程度

【毎日の宿題、家庭学習の内容について】

漢字、計算、音読、その他(クロームブックを活用した課題・あいノート・自主学等)を出題します。時間にゆとりがあれば、読書や予習・復習、ノートまとめ、クロームブックのドリル等で学習を行うのもよいと考えます。また、授業や生活の中で出合った事象から興味のあることを選んで探究する「自主学習」も、自主性や主体性を育むのに効果的です。

【宿題の支援について】

お子様が意欲をもって宿題に取り組み、確実に宿題を提出する習慣を身につけるため、発達段階に応じて以下のご支援をお願いできればと考えています。

★低学年★

可能な範囲で宿題の丸つけをしていただければと思います。お子様と一緒に漢字の書き順や計算の仕方等を確認していただき、「頑張ったね」「よくできました」と丸をつけてあげてください。また、難しい問題があれば、一緒に考えてあげていただければと思います。このような支援を通じて、学習の定着と共に親子のつながりを深めていただければ幸いです。

★中学年★

中学年のお子様には、少しずつ自主性を育むために、自分で宿題の丸つけを行うように学校から指導をします。保護者の皆様には、お子様が丸つけする様子を見守り、必要に応じてサポートをお願いできればと思います。間違ったところを教科書やドリルに当たって調べたり、分からない場合は質問したりして正しく直

すことは、大切な学習の機会となります。ご支援をよろしくお願いいたします。

★高学年★

高学年のお子様には、自主的・計画的に宿題に取り組む習慣を身につけてほしいと考えております。自分で学習計画を立て、それに基づいて宿題を進めることで、自己管理能力と責任感を養うことをめざしてほしいです。特に、第6学年では、中学校へのスムーズな接続を目的として、2学期から漢字ドリルや計算ドリルを1週間の計画を立てて取り組んでもらっています。保護者の皆様には、お子様の計画作成の支援と進行状況の確認にご協力いただければ有難いです。

9月6日 稲刈り体験5学年

春に田植えをさせていただいた田んぼが、黄金色に輝き、稲刈りの日を迎えました。5年生の子どもたちは、「結びの神」を实らせようと、ジャンボタニシを駆除する方法を考えたり、稲生地区の稲作の様子を調べたりする学習を続けてきたので、この日をとても楽しみにしていました。

田んぼの中の雨水が溜まっていたところには、やはりジャンボタニシがいて来年の稲作も心配になりましたが、稲を刈り取り、しっかり実った稲穂の重みを感じるたびに、子どもたちもどんどん笑顔になっていきました。

刈り取った稲は、すぐにコンバインで脱穀してもらいました。今は乾燥機でお米を乾かせますが、昔は脱穀までに「はさかけ」という工程がありました。私も子どもの頃に稲刈りやはさかけの手伝いをした思い出があります。4クラスが体験をして残った部分はコンバインであっという間に刈り取っていただきました。機械の力はすごいです。

お世話をいただいた農地・水・環境を守る会の皆様、夢協安全部会の皆様、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。



9月19日 授業参観・教育を語る会

本年度3回目の授業参観には、お忙しい中多数の保護者の皆様にご来校いただきました。心よりお礼申し上げます。子どもたちも残暑に負けず、成長した学習ぶりを見せてくれていました。

参観の後は、PTA 保護者部さん主催の「教育を語る会」が行われました。



「自己肯定感を高める子育て」をテーマに、鈴鹿市教育委員会教育支援課の橋本伸清先生にご講演をいただいた後、参加いただいた保護者の皆さんと教職員とで、家庭や学校での子どもたちへの関わり方について意見交流を行いました。

橋本先生は、くすのきしげのりさんの絵本「ぼくはなきました」「おこだでませんように」の読み聞かせを途中に織り交ぜて、とても心に響くお話をしてくださいました。



また、意見交流の場では、和やかな雰囲気の中で打ち解けて話ができ、日頃の子育ての悩みを共有し、一緒に考えることができたことも大きな成果だったと感じています。橋本先生のお話から私が学んだことを紹介させていただきます。

自己肯定感＝ありのままの自分を価値あるものとして肯定的にとらえる心

生きる力の土台であり、意欲やエネルギーを生み出してくれるもの
しかし、自分のいいところはなかなか見えないものである。そこで、

1 日頃の何気ない会話が大切

(1) よさを認める会話

本人の感情を確かめる

コミュニケーションをとぎらせない

(2) ありのままの姿を受け止める会話

本人の好きなことを話題にする

嫌な気持ちを受け止める

気持ちを落ち着かせる

大事なことは絞ってきちんと伝える

それにより、安心感・信頼感が育つ。また、気持ちを言葉で表そうとする意欲が育つ。

・ 話す順番が大切である。

① まず気持ちをそのまま受け止める。

「移し返し(オウム返し)」:言葉によるスキンシップ

② 行動や事実を確認する。

・ 「うれしい」「ありがとう」「助かったよ」といったこちらの思いを伝える言葉を大切に:愛されている感覚(愛着)が形成される➡自己受容が深まる

2 体験の共有

・ 一緒に〇〇する。➡感情の共有「お母さん、お父さんと一緒」=「これでいいんだ」

3 親切・人助けをする体験

- ・ ゴミを拾う ・履物をそろえる ・困っている人に声をかける
- 自発的な行動⇒できたという達成感⇒人との心のつながり
=人としての根源的な欲求(願い)が満たされる

子どもへの一番のプレゼント＝おうちがリラックスできる環境であること

⇒親のゆとり、機嫌のよさ

その基礎となるのは、大人(保護者、教員)の自己肯定感

○「3行日記」その日のいいことを3つ書く。

○鏡に映った自分を褒める。

→ 自分自身を褒める、ねぎらう

自分の感情を肯定してあげる

9月24日 地震・火災避難訓練

全校で、大地震とそれによって停電が発生したという想定で避難訓練を実施しました。2学期から配置したトランシーバーによって、職員室から各学年に、そして、各学年から職員室に連絡を取り合い、子どもたちを運動場に避難させました。



夏休みに、職員研修で東日本大震災を経験した教員の方からお話を伺い、実際の災害では今回想定した停電だけでなく、避難経路が使えなかったり、負傷者が出たりすることへの対応も綿密に準備しておく重要性を感じました。今後の訓練にもしっかりと反映していく予定です。

9月28日 PTA 奉仕作業

本年度は、久しぶりに全校の保護者の皆様にご協力をお願いして、奉仕作業をしていただきました。校内や道沿いの除草や樹木の剪定、側溝の掃除をしていただき、子どもたちが安全に気持ちよく過ごせる環境となりました。また、地域の方も協力してくださり、枯れた木の伐採や通学路の信号待機場所の除草をしていただきました。

当日も申し上げましたが、作業を通して保護者の皆様が顔見知りになり、会話が生まれてつながっていく様子を、とても嬉しく心強く思いました。保護者の皆様、計画や運営をしてくださったPTA役員の皆様、ご協力くださった地域の方々、本当にありがとうございました。





運動会の徒競走について

いよいよ運動会が明日に迫りました。当日は、子どもたちの一生けん命な姿に温かい応援を宜しくお願いいたします。

表題の「徒競走」の実施方法について、学校では何度も検討をしまいいりました。それは、「みんなの前で順位をつけられるのが嫌だ」と感じるお子様がいること、着順にかかわるトラブルが増えていることからです。

そもそもスポーツ競技は、なぜ競い合うのでしょうか。それは、他者のよいところを真似したり、作戦を考えたり、目標に向かって努力したりすることが、運動をより楽しくしてくれるからだと考えます。他者を意識することで、自分と他者との違いに気づき、自分を高める新しい学びを得ようとする考え方が根底に必要です。

そういった競技の良さ、楽しさを妨げるのが「結果至上主義」、結果によって人を決めつけようとする考え方です。そういった考え方に子どもたちが陥らないようにするためには、周りが結果よりも過程を重視し、努力や内面の成長を大切にすることが必要だと学校では考えました。

そこで、本年度の徒競走では、順位は本人にのみ伝えることとし、レース後は走ったコースごとに並ぶようにします。また、本人が順位に疑義を抱いた場合は、後日自分で確認ができるようビデオで撮影をしておきます。

保護者の皆様におかれましても、順位ではなく、子どもたちの努力や頑張る姿をしっかりと見つめて褒めていただければ嬉しいです。どうぞ宜しくお願いいたします。



令和6年度 今後の主な行事(予定)

10月26日(土)運動会(雨天順延) ※午前中で終了

	10月26日(土)	10月27日(日)	10月28日(月)
ケース①	運動会実施 (昼食をとらず下校)	休日	振替休日
ケース②	雨等で運動会延期 =休日	運動会実施 (昼食をとらず下校)	振替休日
ケース③	雨等で運動会延期 =休日	雨等で運動会延期 =休日	運動会実施(弁当) 5限14:15下校

※10月29日(火)以降に運動会が延びた場合は、午前中開催で給食後は通常の曜日に順じた時間に下校します。

11月3日(日)ふるさとめぐりウォーキング

11月10日(日)稲生地区防災訓練

11月12日(火)5年社会見学

11月14日(木)修学旅行前健診(6年)

11月21日(木)6年修学旅行

11月22日(金)6年修学旅行

11月23日(土)稲生地区収穫祭

11月26日(火)授業参観2限目

11月28日(木)就学時健診

12月6日(金)鈴鹿市音楽会AM(4年)

12月19日(木)2学期給食最終日

12月20日(金)2学期あゆみ渡し

12月23日(月)2学期終業式

白子中学校区

「生活習慣改善週間」の

取組について

本年度は、以下の日程で、各小中学校が、「親子読書」「家庭学習の充実」「家族団らん」等の取組を工夫して、生活習慣改善を図っていきます。

~~6/14(金)~6/20(木)~~

11/13(水)~11/19(火)

2/17(月)~2/24(日)

1月8日(水)3学期始業式

1月10日(金)給食開始

1月29日(水)授業参観PM

2月5日(水)入学説明会

(R7年度入学1年生)

2月28日(金)6年生を送る会

3月19日(水)卒業式

3月21日(金)給食終了

3月25日(火)修了式・離任式 あゆみ渡し

学校運営協議会の予定

① ~~5月13日(月)17:00~~

② ~~6月24日(月) 9:30~~

③ ~~10月3日(木)15:00 天栄中校区~~

④ 11月5日(火)15:30 白子中校区

⑤ 12月12日(木)15:30

⑥ 1月29日(水)13:00

⑦ 2月28日(金) 9:20

<令和7年度> 4月8日(火)始業式 4月9日(水)入学式AM

今回お伝えしました学校・地域の行事予定は、今後、追加・変更になる場合があります。その際は、随時お知らせいたしますので、最新の連絡をご確認ください。